

「ほくでんサステナビリティレポート 2008」の概要

1. 項目

社会面	電力の安定供給、コンプライアンス、地域社会への貢献活動など
環境面	事業活動が環境に与える影響と「ほくでんグループ環境方針」に基づく環境負荷低減対策など
経済面	中期経営方針(2008～2010年度)、2007年度業績の概要、中期経営方針(2005～2007年度)の実績など
その他	プロフィール、コーポレートガバナンス、グループ各社の事業内容と環境に関する取り組み事項、第三者からの意見、第三者審査など

2. 主な内容

【社会面】

- ・ほくでんグループの植樹活動 (P21)
北海道洞爺湖サミットの開催を契機として、地域の森林作りへの一層の支援を行なう「あびらエネモの森」における植林やカミネッコンを用いた植樹等の「ほくでんグループ みどりのサポーター活動」を特集。

【環境面】

- ・地球温暖化防止対策の推進 (P31～P38)
 - 渇水により水力発電所の稼働が減少したことなどから、2007年度の排出原単位は前年度に比べ約8%増加し0.517kg-CO₂/kWh、CO₂排出量は約11%増加し1,678万トンとなった。
 - 泊発電所の適切な保守の実施、安定運転に努めるとともに、2009年12月の泊発電所3号機の導入により、「2008～2012年度におけるCO₂排出原単位を1990年度の実績から平均で20%程度低減する(0.42kg-CO₂/kWh程度)」という目標達成を目指す。
 - 京都メカニズムの活用については、海外でのCDMプロジェクトや炭素基金への参加などに取り組んでいる。
- ・循環型社会形成の推進 (P45～P51)
 - 産業廃棄物のうち発生量が最も多い石炭灰の2007年度実績は、火力発電所の稼働増加により発生量は約14万トン増加したが、産業廃棄物の総合リサイクル率は石炭灰の有効利用推進などに努め、2006年度と同レベルを維持し、目標(95%程度)を達成。
- ・泊発電所でのプルサーマル実施計画 (P49)

<主な実績>

	2006年度	2007年度	目 標
CO ₂ 排出原単位 (kg-CO ₂ /kWh)	0.479	0.517	0.42 程度 (2008～2012年度の5ヶ年平均)
CO ₂ 排出量 (万トン)	1,508	1,678	—
産業廃棄物総合リサイクル率 (%)	97.4	97.1	95 程度 (2007年度)

【経済面】

- ・中期経営方針 (2008～2010年度) (P57)
- ・2007年度業績の概要と財務データの推移 (P58～P59)
- ・中期経営方針 (2005～2007年度) の実績 (P59)

以上